

概要

モデル6860マグネットを、ポストン・サイエンティフィック製のICDやCRT-Dに用いて頻脈治療を一時的に抑制できます。本書ではこの機能の実行方法を説明します。

マグネットを使うと、マグネットを置いている間は頻脈治療の実施を抑制できます（マグネットの機能がオンであることが必要）。

関連製品

ポストン・サイエンティフィック製の全 ICD および CRT-D

本書に掲載されている製品の中には、一部の国や地域によっては認可されていないものもあります。機器の動作に関する総合的情報は、添付文書ならびに取扱説明書をご参照ください。

www.bostonscientific.com/cardiac-rhythm-resources/international-manuals.html

注意: 法の規制により、本製品の販売は、医師または医師の指示による場合に限定されています。適応、禁忌、使用上の注意、警告は、添付文書ならびに取扱説明書をご確認ください。

特に明記していない限り、画像はすべてポストン・サイエンティフィックの提供するものです。

CRT-D: 除細動機能付植込み型両心室ペースングパルスジェネレータ(CRT-D)

CRT-P: 心再同期治療ペースメーカー

ICD: 植込み型除細動器

S-ICD: 皮下植込み型除細動器

お問い合わせ先

南北アメリカ

(西インド諸島、中米、北米、南米)

www.bostonscientific.com

テクニカルサービス

LATITUDE® クリニシャンサポート

1.800.CARDIAC (227.3422)

+1.651.582.4000

ベーシエントサービス

1.866.484.3268

ヨーロッパ、日本、中東、アフリカ

テクニカルサービス

+32 2 416 7222

eurtechservice@bsci.com

LATITUDE クリニシャンサポート

latitude.europe@bsci.com

Asia Pacific

テクニカルサービス

aptechservice@bsci.com

LATITUDE クリニシャンサポート

latitude.asiapacific@bsci.com

japan.latitude@bsci.com (Japan)

© 2013 by Boston Scientific Corporation or its affiliates. All Rights Reserved.

ポストン・サイエンティフィック社の ICD や CRT-D でマグネットを使用して頻脈治療を抑制する

ポストン・サイエンティフィック製のあらゆる ICD や CRT-D は、マグネット使用にตอบสนองするようにあらかじめプログラムされている場合、マグネットを用いて一時的に頻脈治療を抑制することができます。

重要: ポストン・サイエンティフィック製品の一部*には、追加のマグネット機能があり、頻拍治療を「Off(オフ)」と「Monitor+Therapy(モニター+治療)」に切り替えることができます。お使いの製品が上記製品群に該当する場合、あるいはお使いの製品の機種が不明な場合は、マグネットをご使用になる前に、マグネット使用の詳細についてテクニカルサービスまでお問い合わせください。

*PRIZM: 1850、1851、1852、1853、1855、1856、1857、1858;
PRIZM 2: 1860、1861; VITALITY DS T125、T135; VITALITY EL: T127

マグネット機能がオンになっているか確認

製品がマグネット使用にตอบสนองするようプログラムされているかどうかを判断するには、製品の上にドーナツ型マグネット(モデル 6860)を置き、音(トーン)が聞こえるか確認します。

音が聞こえれば、マグネット機能はオンになっています。

音が聞こえない場合:

- マグネット機能がオンになっていない(治療抑制のためにマグネットを使用するには、プログラムを用いて、マグネット機能をオンにプログラムする必要があります)または
- マグネットが製品の上に正しく置かれていないまたは
- そのデバイスがポストン・サイエンティフィック製品ではない

マグネットを使用して一時的に頻脈治療を抑制

頻脈治療を抑制するには、ドーナツ型マグネット(モデル 6860)を製品の上に置きます。マグネットを正しい位置に置いて音が聞こえている間は、頻脈性不整脈の検出プロセスは継続されますが、マグネットを正しく置いている限り治療は**実施されません**。マグネットを外すと2~3秒後に製品はプログラムされた頻脈治療モードに戻り、音は聞こえなくなります。

注:

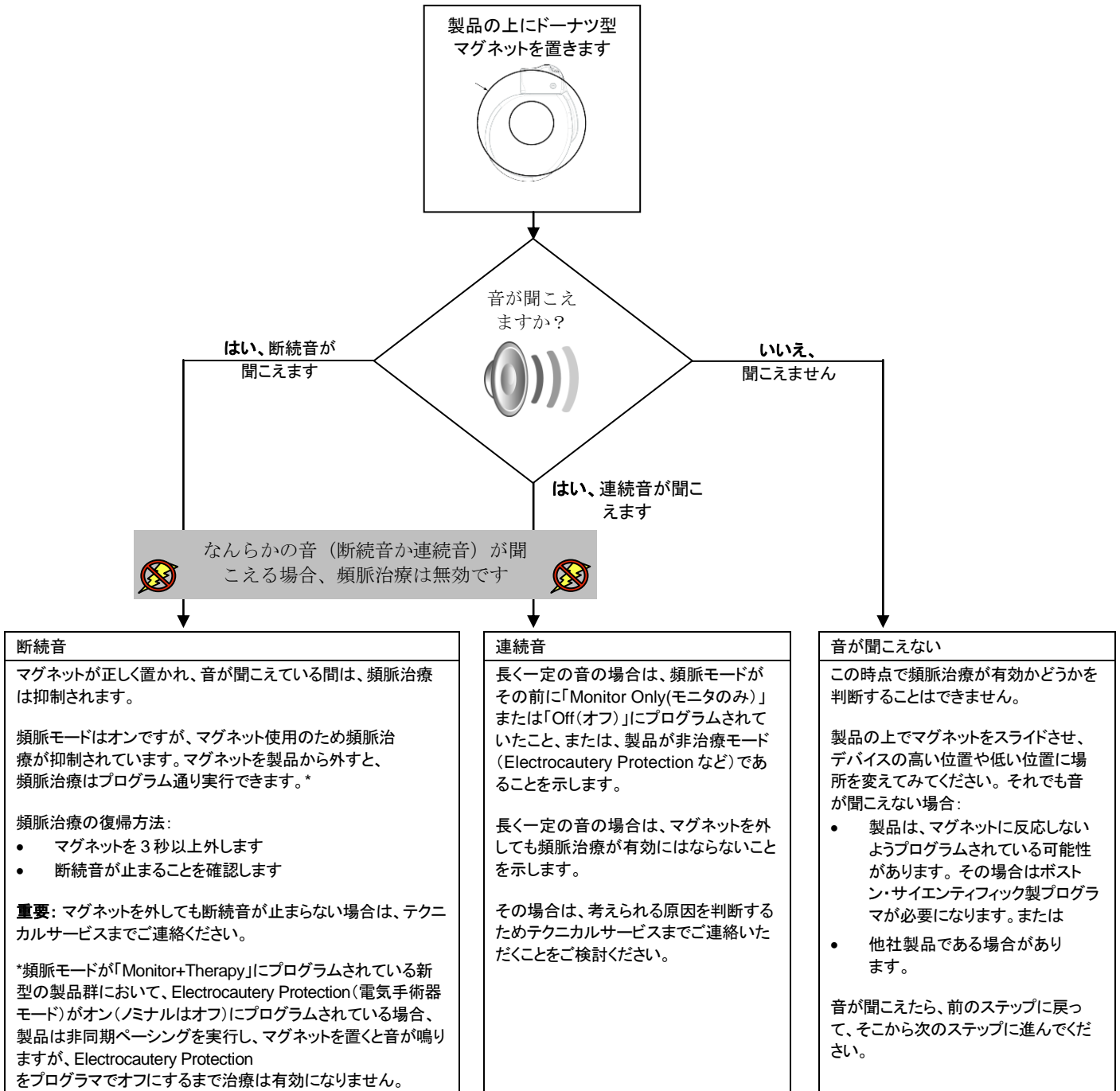
- マグネットを外してもなんらかの音が3秒以上聞こえ続ける場合は、テクニカルサービスまでご連絡ください。
- マグネットを適応してから30秒後に音が変化(断続音から連続音、またはその逆)した場合は、このモデルはドーナツ型マグネットを使って頻脈治療モードの「Monitor+Therapy」と「Off」を切り替えることができる、一部のポストン・サイエンティフィック製除細動器に該当します(上記枠内の記載を参照)。

頻脈モードを「Monitor+Therapy」に戻す場合:

- マグネットを2秒間以上、外します。
- 音が断続音に変わるまでマグネットを再度適応します(約30秒間)。
- マグネットを外します。

この機能に関する詳細は、テクニカルサービスまでお問い合わせください。

図 1. マグネットを用いて一時的に頻脈治療を抑制(ボストン・サイエンティフィック社の ICD および CRT-D すべてに適用可能)



注:

- マグネットの使用に関するご質問は、弊社営業担当者またはテクニカルサービスまでお問い合わせください。
- 製品がまたは Electrocautery Protection モードまたは Off-Electrocautery にプログラムされている場合、マグネットを使用しても頻脈治療実施への影響はありません。これらの音は、マグネットの使用ではなく、製品のプログラミング (たとえば Electrocautery モード) で決まるので、本書の記載とは一致しない場合があります。
- 記載されている製品の応答は、製品の機能やプログラミングによって異なります。
- ペースメーカーとは異なり、マグネットの使用は、ICD や CRT-D の徐脈ペーシングには影響を与えません。
- 音が聞こえたらすぐに製品を確認をすることを、患者様に勧めてください。
- 弊社は、以下のモデルの特定シリアル製品に関する重要情報について、2005年6月23日付けで製品報告を公開しました。H170/H173/H175/H177/H179/H190/H195/H197/H199/M155/M159/M170/M175/M177/M179/H230/H235/H239。医師の皆様には、上記製品において、「マグネット使用機能」を「オフ」にプログラミングすることを考慮いただくように推奨いたしました。その後プログラマーのソフトウェアアップグレードをリリースしております。このアップグレードによって、特定の対象製品において、医師がマグネット機能を有効にしようとした場合には、警告が表示されます。この製品情報の対象がご判断いただくために、製品シリアル参照ツールが、www.bostonscientific.com または www.bostonscientific-international.com でご覧いただけます。